

令和7年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	3単位
学科・類型		普通科Ⅱ類(理系)		学年	第3学年
使用教科書		新詳 地理探求 帝国書院			
使用副教材等		実践攻略 大学入試共通テスト 問題集 実教出版			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察する。</p> <p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。</p>
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・地誌 アフリカ EU 諸国 ロシア アメリカ合衆国 ラテンアメリカ オーストラリア ニュージーランド 	<p>世界各地での人々の生活・文化は、その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解し、日本の生活・文化を絶対視することなく、教科書の写真・地図を正確に読み取って広い視野から異文化を理解・尊重する態度を養う。</p>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地理的考察 ・持続可能な国土像の研究 ・大学入試問題演習 	<p>現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。</p> <p>各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性を自ら考える態度を養う。</p> <p>共通テストの問題を中心に過去問を解く。</p>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題演習 	<p>共通テストの問題を中心に過去問を解く。</p>

令和7年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	政治・経済	単位数	4単位
学科・類型		普通科Ⅱ・Ⅰ類		学年	第3学年
使用教科書		実教出版 『最新 政治・経済』			
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	現代の経済・政治のしくみを知り、社会に対する理解を深める。
---------	-------------------------------

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	現代日本の政治 ＝民主政治の理論＝ 民主政治の基本原則 世界のおもな政治制度 ＝憲法と基本的人権＝ 日本国憲法の基本原則 基本的人権 平和主義と安全保障 ＝日本の政治制度＝ 政治機構 地方自治 政党政治 選挙と政治参加	1学期には、民主政治の基本原則と現代日本の政治諸課題を学ぶ。ここでも抽象的な政治概念や用語を機械的に暗記させることより、具体的な事例を政治の視点で読み解く目と批判的に捉える力を養うことを重視する。 そのために、教科書の基本的内容を整理した教材を各担当者で共有する一方、政治的な出来事背景にあるものや身近な例として上げるものの取捨選択は、各授業者それぞれの工夫のもとでおこない、授業をつくっていく。 ＝演習問題の素材＝ 佛教大学 京都産業大学 龍谷大学 共通テスト等 の過去問
2 学 期	現代日本の経済 ＝経済理論＝ 経済主体と市場 企業の役割、国民所得 経済成長と成長の停滞 金融の役割 財政 ＝現代の日本経済＝ 日本経済の成長と課題 中小企業 消費者問題 労働問題 社会保障	2学期には、経済の理論と現代日本の経済諸課題を学ぶ。抽象的な経済概念や用語を機械的に暗記させることより、具体的な事例を経済の視点で読み解く目と批判的に捉える力を養うことを重視する。 そのために、教科書の基本的内容を整理した教材を各担当者で共有する一方、経済事象の背景にあるものや身近な例として上げるものの取捨選択は、各授業者それぞれの工夫のもとでおこない、授業をつくっていく。 ＝演習問題の素材＝ 佛教大学 京都産業大学 龍谷大学 共通テスト等 の過去問
3 学 期	定期考査	一年間の復習テストをおこなう。

令和7年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	4単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第3学年
使用教科書		『日本史探究』（実教出版）			
使用副教材等		帝国書院『図説 日本史 通覧』 とうほう『ウィニングコンパス』			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・民主主義の本質に関する理解を深めさせる。 ・現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させ、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 立憲国家と日清戦争 日露戦争と国際関係	諸制度の改革や富国強兵・殖産興業政策について、欧米列強とのかかわりに着目して政治、外交、経済など様々な面から考察させる。 国会開設の運動など、国民の間に政治的関心が高まるなかで立憲体制が成立し、近代国家の基盤が形成された過程を考察させる。 日本が韓国併合や満州への勢力拡張などを通じて植民地支配を進めたことを考察させるとともに、国民の対外意識の変化や近隣諸国の受け止め方について考えさせる。
2 学 期	第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦	第一次世界大戦とその前後の国際社会の動向に留意して、我が国の対外政策や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。 大衆社会成立の中での政党政治の発展を、政治や社会運動の動向に留意して考察させる。 「満州国」建国や華北分離工作などを進め、日中全面戦争にいたった経緯を理解させる。
3 学 期	定期考査	

令和7年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	4単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第3学年
使用教科書		世界史B新訂版（実教出版）			
使用副教材等		世界史探究ノート（実教出版） ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民の資質と自覚を養う。
---------	--------------------------------------

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教改革 ・絶対王政 ・17～18世紀の西欧文化 ・産業革命 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命 ・ウィーン体制 ・19世紀の欧米文化 ・オスマン衰退 ・清の滅亡 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したとともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。 ・科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の構想とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。 ・離れた時代の事象や海外の事象を取り扱うため、写真や映像、地図を積極的に活用し、イメージの喚起に役立てる。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリア王国の成立 ・ドイツ王国の成立 ・帝国主義と諸外国 ・清の滅亡と中華民国の成立 ・アジア諸国 ・第一次世界大戦・ヴェルサイユ体制 ・世界恐慌 ・ファシズム ・第二次世界大戦 ・冷戦 ・石油危機 	<ul style="list-style-type: none"> ・総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを利愛させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。 ・米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察させる。 ・離れた時代の事象や海外の事象を取り扱うため、写真や映像、地図を積極的に活用し、イメージの喚起に役立てる。
3 学 期	定期考査	

